

生まれてきてくれて、ありがとう

帆花

ほのか

監督・撮影：國友勇吾
撮影：田崎給美 編集：秦岳志 整音：川上和也 音楽：haruka nakamura プロデューサー：島田隆一
製作：Jyalya Films+roa film 配給：Jyalya Films 配給協力：宣伝： REGARD
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（映画創造活動支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
2022年1月29日 DCP/Blu-ray/DVD © Jyalya Films+roa film

2022年1月2日よりポレポレ東中野ほか全国順次公開

UDC   文部科学省選定

 TWITTER

 FACEBOOK

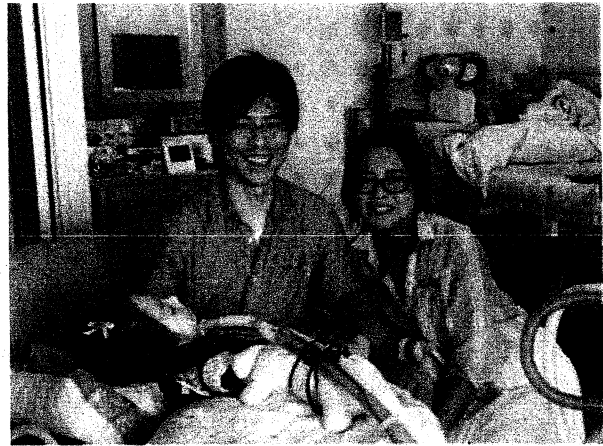
 CONTACT

 ツイート  LINE!  LINE@

イントロダクション

我が子の成長を喜び、愛しむ両親の姿とその日々の営みを見つめ、いのちにふれるドキュメンタリー。

生後すぐに「脳死に近い状態」と宣告された帆花ちゃん。母親の理佐さん、父親の秀勝さんと過ごす家族の時間にカメラは寄り添う。常に見守りが必要な帆花ちゃんとの生活は誰にでもできることではない。でも、理佐さんと秀勝さんの2人にとってはあたりまえで、普通のこと。いろんな場所に出かけていき、絵本を読み聞かせ、お風呂に入れ、散歩をする……ありふれた日常の中で積み重なり、育まれていくもの。動がなくても、言葉を発しなくても、ふれあうことで通じ合い、満ちていくもの。帆花ちゃんを愛しむ両親の姿から伝わる、我が子と一緒にいられる幸せ。



そんな家族のかけがえのない日々、生きる喜びと生命の営みを見出したのは、今作が初監督作品となる國友勇吾。3歳だった帆花ちゃんが小学校に入学するまでの間、家族のすぐそばで、言葉にならずとも、カメラに映らずとも、ひとが生きていく上で大切なものを丁寧にみつめ続けた。プロデューサーに「春を告げる町」の監督でもある島田隆一を迎え、編集を「ニッポン国VS泉南有綿村」「東京クルド」などの秦岳志、整音を「台湾萬歳」「オキナワサントス」などの川上和也が手掛けるなど、現代ドキュメンタリーの精鋭陣がスタッフとして参加している。

帆花ちゃんの手の柔らかさとあくもりに、生を実感して心が震えたという國友監督が紡ぎ出す、いま、この社会に私たちがともに在る「いのち」の物語。

監督

監督 國友勇吾 くにともゆうご

1983年石川県生まれ。2012年、日本映画学校（現・日本映画大学）映像ジャーナルコース卒業。その後フリーの映像制作者として、企業用PR映像の制作現場などで活動。2017年、島田隆一監督のドキュメンタリー映画『春を告げる町』（2020年公開）に助監督として参加。『帆花』が初監督・長編第1作となる。

「監督からのメッセージ」

忘れられないエピソードがある。まだ帆花ちゃんの元に通い始めて間もない頃、ベッド脇で撮影をしていた自分に、秀勝さんが帆花ちゃんの手を差し出し握手させてくれた。クリームパンのような形をした小さな手を握った瞬間、その柔らかさと帆花ちゃんの肌の温もりが伝わってきて、とっても愛おしく感じた。顔を赤くして、汗を掻きながら踏ん張る帆花ちゃんを初めて見た時は、彼女の生を実感して、心が震えた。どれも嘘から見れば、些細な出来事かもしれない。でもそれらの体験は、数年後に自分の妹を初めて抱っこした時と同じように、忘れられない体験となっている。ご両親が帆花ちゃんとの何気ない瞬間を、一つのひとのカメラに収め、大切にできるように、撮影を通して帆花ちゃんや家族と過ごした時間が、確かにそこに在ったものとして、自分の中に残っている。映画をご覧になる皆さんにも、そんな家族の時間に流れている空気を感じていただけると有難い。

帆花

ほのか

2022年1月2日(日)よりお正月ロードショー

ポレポレ東中野ほか全国順次公開

劇場情報

関西

都道府県	劇場	上映期間
大阪	第七藝術劇場	近日公開
京都	京都みなみ会館	近日公開



公式サイト <http://honoka-film.com/>